



医療法人社団 唱和会

# 明野中央病院



# 2015年度 事業報告書 vol.9

(2015年4月～2016年3月)



ホームページもご覧下さい | 明野中央病院

検索

看護部ブログも更新中 フェイスブックもチェック! いいね!



## 病院理念

医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

## 基本方針

- 一．家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一．地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一．患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一．たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一．地域の健康増進・病気の予防に努めます

## ご 挨拶



院長 木下 昭生

イギリスの EU からの離脱問題で世界経済が影響を受け世界同時株安が進行しています。それだけでなく、ヨーロッパの難民問題、中国の経済の不安定化などにより、伊勢志摩サミットでは、テロ対策と肩をならべて経済問題が大きな議題になりました。日本でも、株価の下落、円の急騰などがあり、先々の経済の見通しに暗雲が垂れ込めています。わが国では夏の参議院選挙が目前に迫ってきました。「今年の参議院選挙で国民が政治家に最も期待する課題は何か」という NHK の世論調査によると、その経済政策が 2 位。経済政策を押さえて堂々 1 位は社会保障政策でした。国民が期待する社会保障政策。年金、医療、介護。国民が期待するのは決して社会保障政策の抑制ではないはずです。日本国民はだれでも将来に不安をもっています。それも、孫の世代の遠い将来ではなく、5~10 年先の自分自身のすぐ先の将来に。「どうやってこの先生活しよう。」「子供に世話にならず生きていけるだろうか」社会保障の充実を今以上に期待しているのではないのでしょうか。しかるに、国、地方併せて 1000 兆を超える長期債務を抱えるわが国では、激増する社会保障費をどう抑えるかで頭を悩ませております。地域医療構想によるベッド数の削減、地域包括ケアシステムによる在宅への医療・介護のシフトなどを提唱しており、特に 2 年後に控える診療報酬・介護報酬の同時改定では社会保障費の伸びの抑制を見据えた大胆な切り込みが予想されております。国は、これらのギャップを正直に国民に伝え、どう乗り越えるべきかの議論を国民も交えて真剣に繰り広げていく時期に来ていると思います。さて、明野中央病院の 2015 年度の年報ができあがりました。ご一読いただければ幸いです。明野中央病院は今年の 7 月から新しい病院へ引っ越し診療を行います。職員一同新しい気持ちで取り組んでいく所存です。これまで以上に新しい明野中央病院をどうぞよろしくお願いいたします。



## 目 次

地域交流会（ふくろうの会）	1
ボランティアの会	2
病院概要	3
病院沿革	5
創設者 中村裕について	6
職種別職員数	6
組織図	7
年間行事	8
日本整形外科学会 脊椎内視鏡下手術・技術認定医の資格を取得	11
公益社団法人日本リハビリテーション医学会指導医の資格を更新	11
日本麻酔科学会の麻酔科認定病院に認定	12
増改築工事について	13
花日記 ～2階ウッドデッキから～	14
部門報告	
<医療安全管理室>	16
<地域医療連携室>	17
<こつ・かんせつ・リウマチセンター>	18
<診療部>	
内科	19
消化器内科	21
整形外科	22
麻酔科	25
診療情報管理室	27
<医療技術部>	
薬剤科	28
栄養科	29
リハビリテーション科	31
放射線科	35
臨床検査科	37
臨床工学科	39



＜看護部＞	
看護部	40
外来	42
2階病棟	43
3階病棟	45
手術室	47
＜事務部＞	
事務部	50
医療事務課	51
明野中央介護支援センター	53
訪問看護ステーションふくろう	54
委員会報告	
＜委員会＞	
医療事故防止委員会	57
感染対策委員会	60
褥瘡・栄養対策委員会	62
業務改善委員会	64
教育委員会	65
＜その他＞	
NST（栄養サポートチーム）	66
糖尿病相談会	68
静脈血栓塞栓症対策チーム	69
禁煙サポートチーム	70
親和会	71
新聞報道	73
新入職員1年を振り返って	76
入職5年を振り返って	77
入職15年を振り返って	81
入職25年を振り返って	82

## 地域交流会（ふくろうの会）

### ○設立目的

当院は、病院理念に「医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める」を掲げ、地域の皆様から安心信頼される病院作りを目指し日々努力しております。さらに今後も真に地域に根ざした医療機関として皆様方の期待に応えられる病院としてのあるべき姿を模索しております。そこで、広く地域の皆様方と意見交換を行い、医療全般に関する苦情、要望、地域の病院として当院の果たす役割等についてご意見を頂きたく設立しました。

2004年9月発会。

### ○メンバー 2016年3月現在（敬称略）

- 湯田 国男 （ふくろうの会会長）
- 山田 軍才 （明野日の出町自治会長）
- 岩崎 祐一 （明野高尾自治会長）
- 首藤 和也 （明野東町自治会長）
- 小柳 義明 （明野旭町自治会長）
- 飛河 克子 （日本リウマチ友の会大分支部長）





## ボランティアの会

○メンバー 2016年3月現在（敬称略）

会長 志水 篤信

副会長 赤田 久代      田代 千枝

加来 邦子      倉住 れい子      坂井 礼子      佐々木 友江

高平 潤子      高木 美和      石田 洋子

○活動内容

- ・グリーンボランティア
- ・各種イベント企画
- ・ガーデンティーパーティー
- ・講演会手伝い等



花壇の植え替え



一日看護師体験



ガーデンティーパーティー



ボランティアの皆さん



## 病院概要 (2016年3月現在)

診療科目	内科／整形外科／リウマチ科／消化器内科 形成外科／リハビリテーション科／麻酔科（森正和）／放射線科
病床数	75床（一般） 2階病棟 一般：45床（地域包括ケア病床10床含む） 3階病棟 回復期リハビリテーション病棟：30床
研修施設	日本整形外科学会研修施設 日本手外科学会研修施設 日本リハビリテーション医学会研修施設 日本高血圧学会研修施設 日本リウマチ学会教育施設
学会認定 専門医・指導医	日本内科学会 専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本整形外科学会 専門医 日本脊椎脊髄病学会 指導医 日本手外科学会 専門医 日本リハビリテーション医学会 指導医 専門医 日本リウマチ学会 指導医 専門医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本神経学会 専門医 日本麻酔科学会 専門医 日本集中治療医学会 専門医



施設基準

7 : 1 入院基本料  
診療録管理体制加算  
医師事務作業補助体制加算  
急性期看護補助体制加算  
感染防止対策加算  
後発医薬品使用体制加算  
病棟薬剤業務実施加算  
データ提出加算  
回復期リハビリテーション病棟入院基本料 1  
地域包括ケア入院医療管理料 1  
外来リハビリテーション診療料  
ニコチン依存症管理料  
がん治療連携指導料  
薬剤管理指導料  
在宅療養支援病院  
在宅時医学総合管理料又は特定施設入院時等医学総合管理料  
検体検査管理加算(Ⅱ)  
CT 撮影及びMRI 撮影  
外来化学療法加算 I  
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)  
運動器リハビリテーション料(I)  
呼吸器リハビリテーション料(I)  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術  
胃瘻造設術  
輸血管理料 2  
輸血適正使用加算  
麻酔管理料

## 病院沿革

1974(昭 49)1 月	医療法人社団恵愛会 大分中村病院の分院として開院。(病床数 65 床) 同時に『救急指定病院』『労災指定病院』の指定取得
1978(昭 53)11 月	『医療法人社団唱和会 明野中央病院』として、分離独立
1997(平 9)3 月	社団法人日本整形外科学会認定医制度による『研修施設』認定取得
1999(平 11)5 月	第一期増築工事完成 (病床数 70 床) バイオクリーンルーム設置 ヘリカル CT 設置
1999(平 11)7 月	身体障害者福祉法第 19 条の 2 の規定による『更生医療を担当する医療機関』の指定取得
2002(平 14)年 6 月	第二期増築工事完成 (病床数 75 床)
2002(平 14)年 7 月	MRI 設置
2002(平 14)年 9 月	パワーリハビリテーション機器導入
2004(平 16)年 1 月	一般病床 45 床、特殊疾患療養病棟 (30 床) に変更
2004(平 16)年 3 月	『臨床研修病院』指定取得 (厚生労働大臣指定)
2005(平 17)年 9 月	一般病床のうち、8 床を『亜急性期入院医療管理料』として届出
2005(平 17)年 10 月	日本医療機能評価機構 認定取得
2006(平 18)年 4 月	『亜急性期入院医療管理料』を 8 床から 10 床に変更 院外処方箋発行開始
2006(平 18)年 9 月	マルチスライス CT 設置
2007(平 19)年 2 月	特殊疾患療養病棟 (30 床) を回復期リハビリテーション病棟 (30 床) に変更
2008(平 20)年 1 月	日本手の外科学会 基幹研修施設に認定
2008(平 20)年 10 月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 (重症患者回復病棟加算)
2009(平 21)年 7 月	『こつ・かんせつ・リウマチセンター』開設
2009(平 21)年 11 月	『日本リハビリテーション医学会 研修施設』に認定
2010(平 22)年 4 月	『日本高血圧学会 高血圧認定研修施設』に認定 『日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設』に認定
2010(平 22)年 9 月	『日本リウマチ学会教育施設』に認定
2010(平 22)年 10 月	日本医療機能評価機構 Ver.6 更新
2014(平 26)年 4 月	亜急性期病床(10 床)を地域包括ケア病床(10 床)に変更

## 創設者 中村裕について

創設者 中村 裕 (1927年～1984年)



1951年	九州大学医学部卒業 同大学整形外科医局に入局
1960年	英国ストーク・マンデビル病院に留学
1961年	第1回大分県身体障害者体育大会を開催
1964年	東京パラリンピックの日本選手団長を務める（以降、1980年までの全ての夏季パラリンピックの団長を務める）
1965年	大分県別府市に、障がい者の自立を目的とした「社会福祉法人 太陽の家」を設立
1975年	第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会（フェスピック）開催
1981年	第1回大分国際車いすマラソン大会の開催に尽力
1984年	死去 享年 57

当院は、1974年1月に創設者であり前理事長である中村裕により開設されました。中村裕は、日本ではまだ「リハビリテーション」という言葉も普及していなかった昭和30年代に当時の医療先進国イギリスに渡り、最新の医療事情、特に障がい者の社会復帰のためのリハビリテーションと障がい者スポーツを学びました。その経験を日本に持ち帰り、1965年に障がい者の社会復帰を支援する社会福祉法人「太陽の家」を創設しました。整形外科の医師としては、大分中村病院（1966年12月）と明野中央病院という2つの病院を開設し、障がい者スポーツの分野では、東京パラリンピックや極東・南太平洋障害者スポーツ大会（フェスピック）などの開催に尽力しました。1981年の国際障害者年を記念して中村の提唱により始まった「大分国際車いすマラソン大会」は、すでに長い歴史を刻み、今では世界最高レベルの障がい者スポーツ大会として世界中の車いすアスリートの目標となっています。

## 職種別職員数

143名

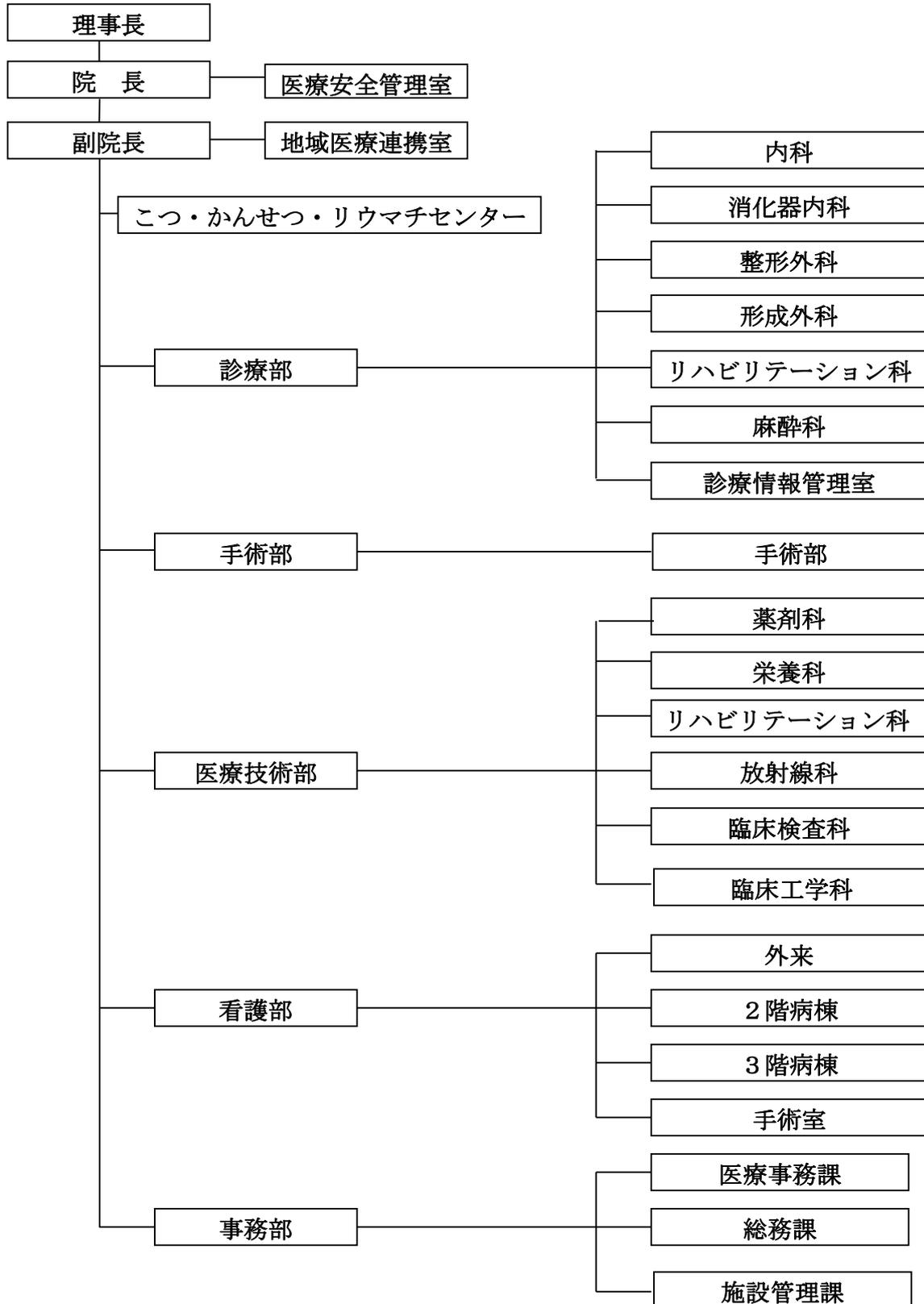
(2016年3月31日現在)

医 師	8名	診療放射線技師	4名
薬 剤 師	2名	臨床検査技師	3名
看 護 師	69名	臨床工学技師	1名
准 看 護 師	2名	管理栄養士	2名
看護業務補助者	10名	医療ソーシャルワーカー	1名
理学療法士	15名	事務職員	19名
作業療法士	6名		
言語聴覚士	1名		



# 組織図

2016年3月31日





## 年間行事

2015年 4月 ○親睦会

- 2015年 5月
- 中学生一日看護師体験
  - 第15回 ガーデンティーパーティ
  - ふれあい看護師体験
  - 感染研修会
  - 防災訓練



ふれあい看護師体験



中学生一日看護師体験



防災訓練

- 2015年 6月
- 第10回 ボーリング大会
  - 高校生看護師体験
  - 医療事故&業務改善研修会



高校生看護師体験



医療事故&業務改善研修会



2015年 8月 ○医療ガス研修会  
○明野地区講演会



医療ガス研修会



明野地区講演会

015年 9月 ○中学生職場体験  
○倫理研修会



中学生職場体験



倫理研修会

2015年 10月 ○第16回 ガーデンティーパーティ  
○個人情報&介護研修会



ガーデンティーパーティ



個人情報&介護研修会



- 2015年11月 ○院内研究発表会  
○防災訓練  
○第2回ソフトバレー大会



院内研究発表会



防災訓練

- 2015年12月 ○忘年会

- 2016年1月 ○第8回 新春明野寄席  
○感染研修会



新春明野寄席



病院総会

- 2016年2月 ○医療事故研修会  
2016年3月 ○病院総会

## 日本整形外科学会 脊椎内視鏡下手術・技術認定医の資格を取得

中村英次郎

日本整形外科学会『脊椎内視鏡下手術・技術認定医』は取得する為の基準が非常に厳しく各都道府県に3～5人程度しか認定を受けた医師が登録されていません。

(参考：<https://www.joa.or.jp/jp/index.html>)

脊椎は骨や筋肉などをはじめ神経や靭帯や血管など人間の体の中でも複雑で重要な部分です。通常行われている脊椎の手術も難しいのですが、さらに傷口の小さい範囲での手術を内視鏡を使って行うのですから技術認定の基準も難しいものとなります。資格取得のためには脊椎専門医としての手術を300症例以上実施することや内視鏡手術に関する研究の学会発表、実際の脊椎手術に関する症例報告、内視鏡手術の技術研修などの様々な基準をクリアする必要があります。副院長で整形外科医の中村英次郎はこの資格を取得しています。内視鏡下手術は従来の手術に比べ体への負担が遙かに小さく、患部を正確に確認しながら手術を行うことが出来ます。認定医による脊椎内視鏡手術は患者さんにより安全な医療を提供できると考えられています。ヘルニアなどでお悩みの患者さんは中村までご相談ください。

## 公益社団法人日本リハビリテーション医学会指導医の資格を更新

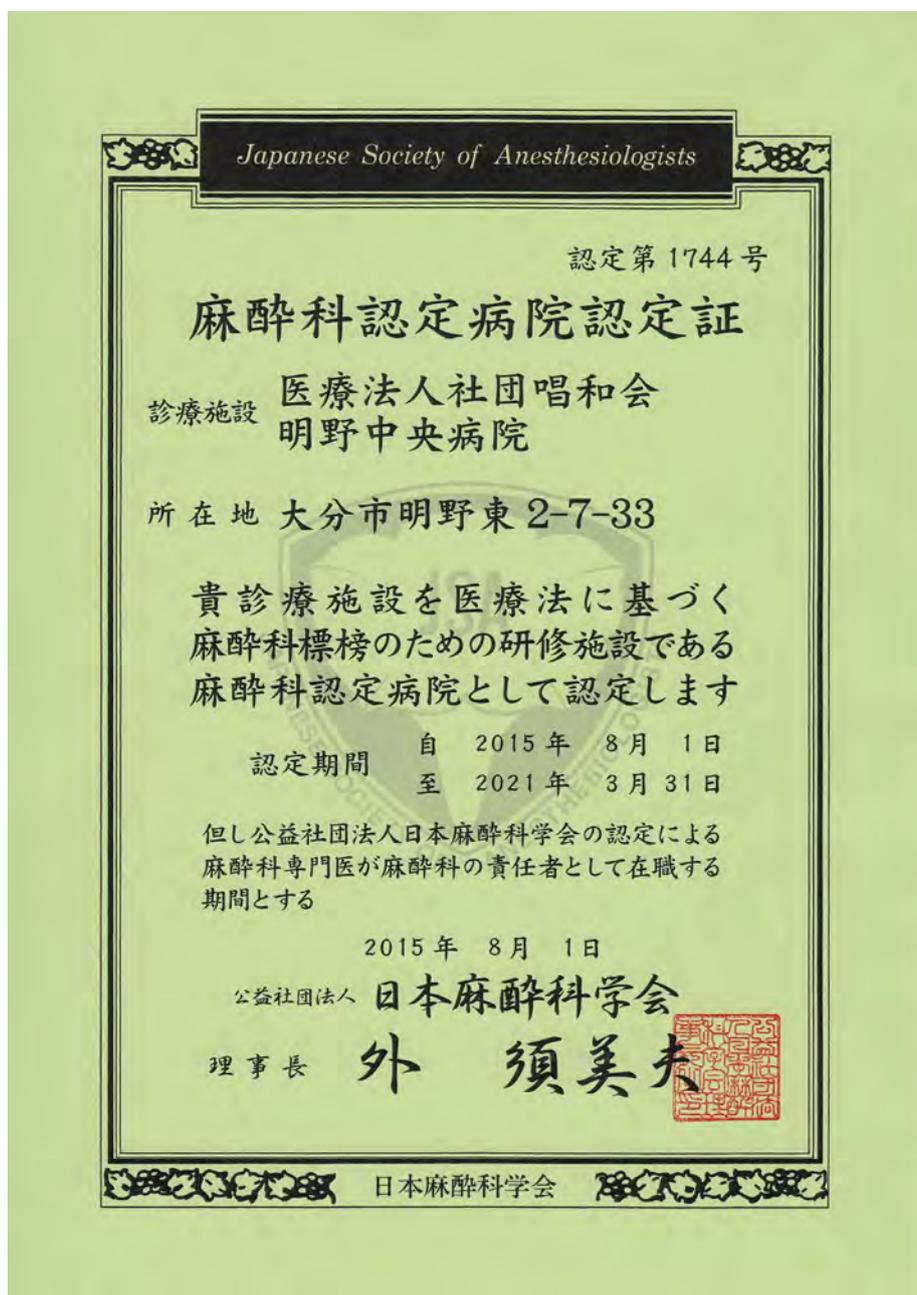
中村英次郎

当院は、公益社団法人日本リハビリテーション医学会の研修施設として認定されています。研修施設として認定されるためには、学会認定の専門医が指導医として常勤し、専門医制度卒業研修カリキュラムに基づいた研修が可能であることなどの基準を満たしていなければなりません。このたび、当院副院長の中村英次郎が、指導医の資格を更新しました。今後とも医学的リハビリテーションの更なる発展のため、微力を尽くしていきたいと思っております。



## 日本麻酔科学会の麻酔科認定病院に認定

日本麻酔科学会の麻酔科認定病院に認定されました。認定を受けるためには、常勤の麻酔科医が管理する全身麻酔症例が年間 200 例以上あること、安全な麻酔を行うための施設、設備が整備されていること、専門医を育成するための十分な施設、設備が整備されていることなどの基準を満たさなければなりません。当院の昨年度の全身麻酔症例は 622 例でした。無事に安全に手術が成功するように、麻酔科専門医が患者さんの安全を守っています。



## 増改築工事について

本院は1974年（昭和49年）に開院しました。開院時は現在の本館（旧館ともよばれてますが---）のみでシンプルな構造でした。その後平成9年に手術室などの増設を目的とした西館の増設、また入院環境の改善を目的とした平成12年に東館を増設、という2度の増改築を経て、現在の本館を中心としたコの字型の構造で現在まで診療を行なってきました。最近の高度医療にさらに対応する、耐震などの災害に対する備え、などの観点より、2015年9月より3度の増改築工事を行なっております。工事は病院東側の駐車場及びガソリンスタンドがあった部分に新館を建築しております。おかげさまで工事は順調に進み、2016年7月には新館での診療が開始します。今後旧館部分の解体、駐車場の整備、訪問看護ステーション、在宅センター等の機能を備えた事務・管理棟を整備する予定で、全工事終了するのは2017年3月ごろを計画しております。本稿が皆様のお手元にとどくころは新館での診療は開始しておりますが外構工事が継続中である時期と存じます。患者さん、利用者様、近隣ご在住の皆様には今しばらくお騒がせすることになり申し訳ございません。この増改築ではMR等の最新医療機器や新手術室（人工関節などの整形外科新手術対応）、また個室の充実など入院環境の整備、厨房オール電化、さらに看護職員をはじめとする職員作業環境整備も行なっておりますので今しばらくのご猶予をお願い申し上げます。

副院長 中村英次郎





## 花日記 ～2階ウッドデッキから～

2階ウッドデッキの花だんにはボランティアの方々が生けた四季折々の花が咲いています。  
傍らの「花日記」には多くの書き込みが・・・

5年ぶりの中央病院。多くの時間をここ談話室で過ごします。さまざまな花を眺め、名前を見つけてなつかしく思います。自分も過去に菜園や花壇に植えた草花、知らないのもあり楽しいです。ありがとう。

ここに入院しているおばあちゃんのお孫です。入院したと聞いてびっくりしましたが、話を聞いて安心しました。このプランターのお花はきれいですね。

昨日、入院しました。同室の方が食事のこと、利用できるトイレのこと等を教えてくれました。一番安心できたことは看護師さんが明るく、やさしいことでした。今朝もやさしく接してくれています。ありがとう。

昨日はずっと雨でしたが、今日はお天気です。お花たちも喜んでいるでしょうね。今年も残りわずか……。談話室を使用している皆の目にきれいなお花がうつります。お花を育ててくれたボランティアの方々、1年間お疲れ様でした。また来年もよろしくお祈りします。

花がいつもきれいですね。皆様のご苦勞がよくわかります。私も自宅で花を植えていますし、ボランティアで公園の花壇を運営しています。水やりや肥料と天候で勉強させられる事が多いです。楽しんでやり続けて下さい。

明日、退院の運びとなりました。寒い冬の外なのに中は半袖でも過ごせる病室内でした。看護師さん達の優しい声と励ましの声が途切れることなく今日も続いています。お陰様で不満無く約3週間余の生活が終わります。先生、看護師さんありがとうございました。